

国際文化都市特別委員会 調査・研究テーマ（案）

（付議事件）

海外諸都市との交流、国際会議の誘致や世界貢献を進めるとともに、文化芸術創造都市としての横浜らしい魅力を世界に発信し、様々な人々が交流する国際性豊かなまちづくり施策の推進を図ること

＜テーマ案＞市民レベルでの国際交流のあり方について

【選定理由】

国際文化都市横浜は、様々な国際コンベンションを通して真の意味の国際交流の促進を図る必要があり、その軸となるのは、市民レベルでの国際交流とそれによる国際人としての意識の醸成であると考えられる。横浜ではこれまでも様々な国際コンベンションが実施されてきたが、その後の交流が活発にかつ継続的に行われてきたとは言い難い。

今年度は11月にAPECが開催され、様々な市民参加事業も予定されている。この機会を一過性のものとせず、今後に繋げる必要がある。

今後、ますます国際化が進む中で、市民一人一人が地域の中でどのような国際交流ができるかがポイントと考える。特に次代を担う子供たちがそれぞれの地域で国際性を養うために何が出来るのかに焦点を当てることも重要である。

【論点等】

- ・小中学校での外国語教育・国際交流のあり方について
- ・APECを契機とした市民参加事業について
- ・相互ホームステイなどの国際交流の推進について
- ・市民主体の国際交流の継続性、将来性

【視察先候補】

- 1 外国人学校や私立中・高校で、相互ホームステイなど国際化教育に特色のある学校
- 2 市内の大使館及び領事館関係
- 3 APEC関係
 - ・APEC横浜開催記念イベント（9月末）など
- 4 民間団体（YMCA等）による国際交流イベント

【参考人候補者】

- 1 国際理解教育や多文化教育に関する専門家
- 2 国際交流に取り組む市民団体（国際交流ラウンジ）関係者
- 3 国際交流に取り組む大使館・領事館等関係者